

馬淵川河川事業の進捗状況

平成22年11月24日

東北地方整備局
青森河川国道事務所

目 次

■河川整備計画に基づく堤防の整備	・ ・ ・ ・ ・	1
■馬淵川の総合的な治水対策	・ ・ ・ ・ ・	2
■河川改修事業	・ ・ ・ ・ ・	3
■河川環境整備事業	・ ・ ・ ・ ・	4
■河川維持管理業務	・ ・ ・ ・ ・	5
■河川環境の整備と保全	・ ・ ・ ・ ・	6
■住民参加と地域との連携	・ ・ ・ ・ ・	8

河川整備計画に基づく堤防の整備

【河川の整備の実施に関する事項】

- ① 堤防の整備
 - ・河道の目標流量を安全に流下させるための「**堤防の新設及び拡築**」
 - ・浸透に対する安全性を確保するための「**堤防の質的整備(ドレーン工)**」
- ② 河道掘削
 - ・堤防整備が完了しても河道断面不足が生じている箇所の「**河道掘削**」
- ③ 地震・津波対策
 - ・堰や樋門・樋管などの「**耐震性能の照査**」、「**耐震補強**」などの必要な対策
- ④ 水防活動拠点
 - ・災害時における水防活動や応急復旧の拠点となる「**河川防災ステーション**」の整備

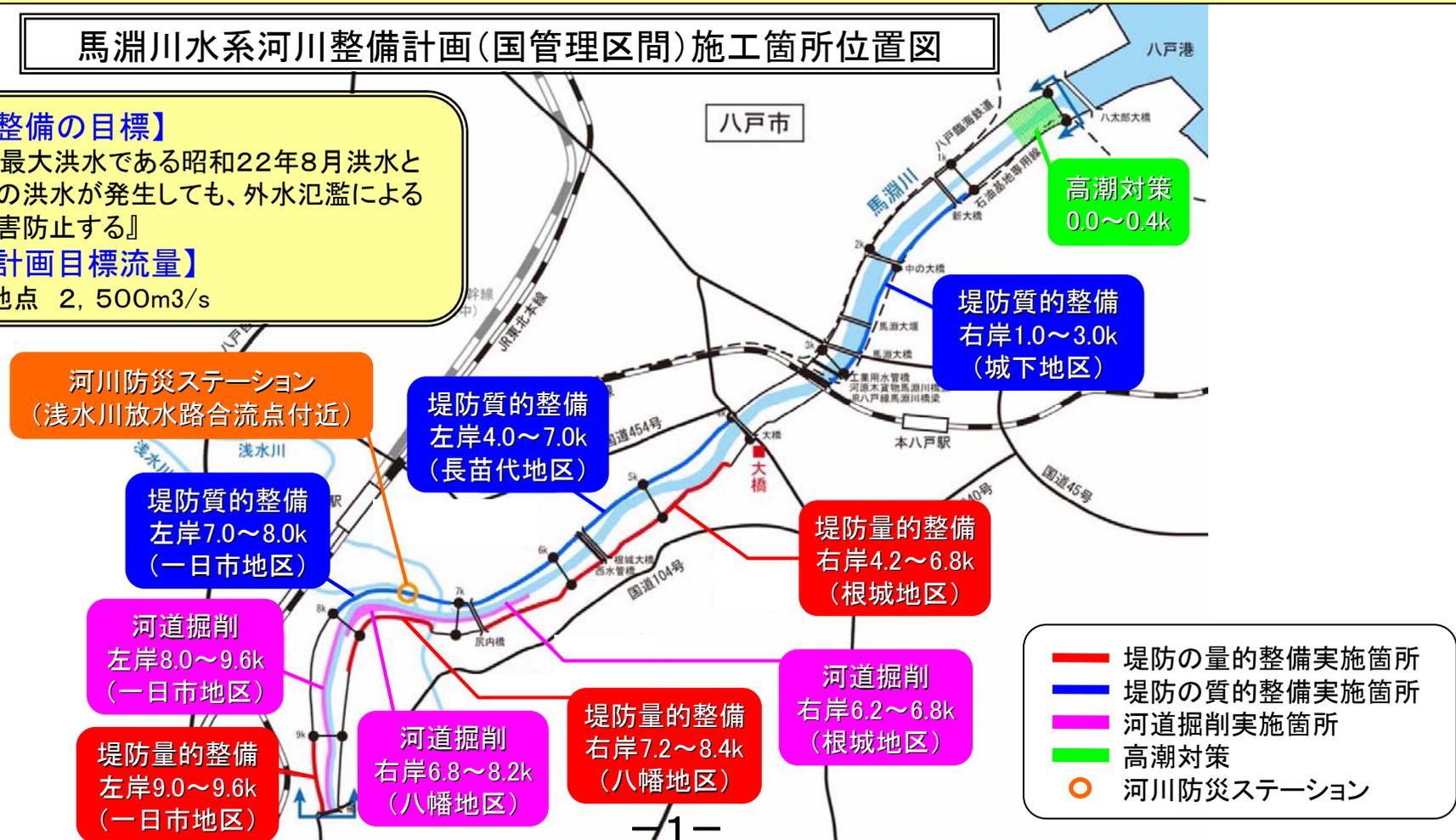
馬淵川水系河川整備計画(国管理区間)施工箇所位置図

【河川整備の目標】

『戦後最大洪水である昭和22年8月洪水と同規模の洪水が発生しても、外水氾濫による浸水被害防止する』

【整備計画目標流量】

大橋地点 2,500m³/s



馬淵川の総合的な治水対策

平成18年10月をはじめ近年10年間で3回もの洪水が発生し、延べ336戸の浸水被害が発生したことを受け、馬淵川沿川の1市2町、青森県、国土交通省により、効率的かつ早急な治水対策実現のため、市町・県・国が連携・分担し、流域住民の安全・安心を図るため「総合的な治水対策」を策定しました。

これに基づき、平成19年度から再度災害防止を目指した緊急的な治水対策(ハード・ソフト)を実施しています。

ハード対策 10地区(①~⑩)においてハード対策を実施します。

ソフト対策 “洪水情報共有システム”の整備や“洪水ハザードマップ”の作成、国・県・市町が連携した“洪水対応演習”などを実施します。



【事業の概要】

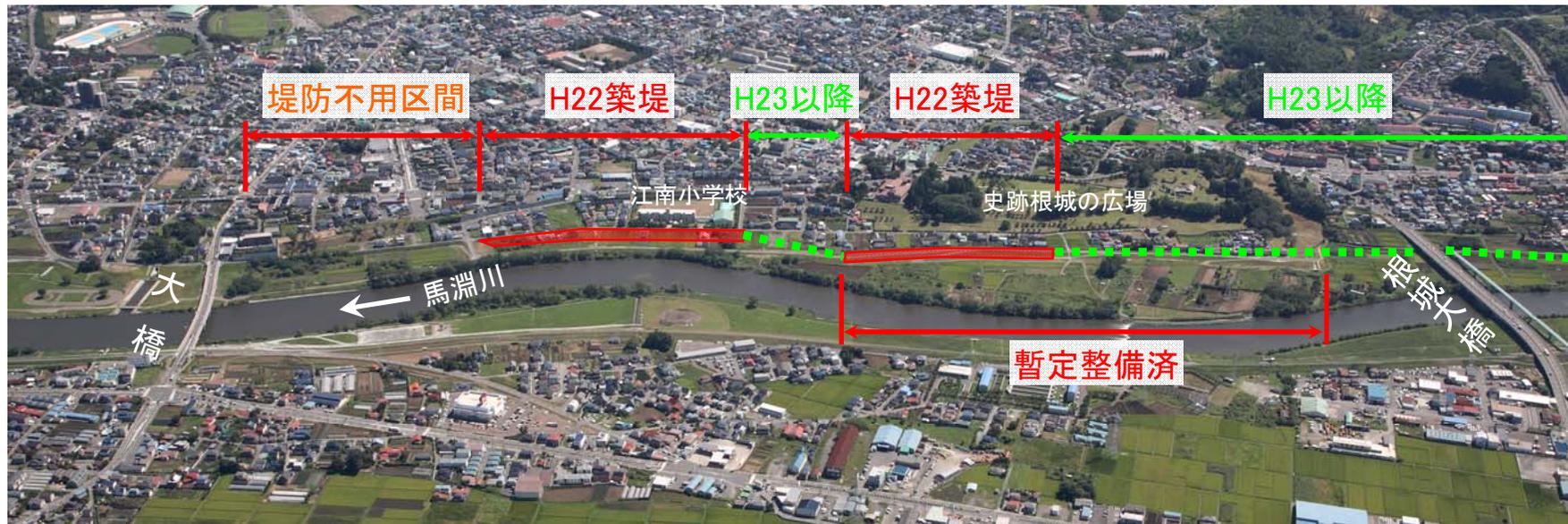
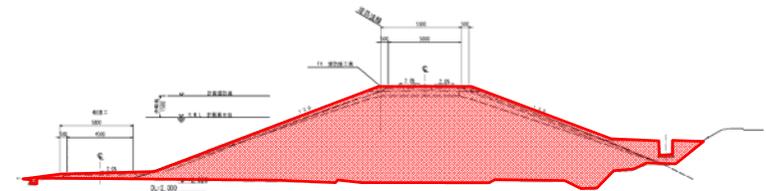
馬淵川右岸根城地区は、堤防未整備箇所のため洪水時の流下能力が低いまま残っている区間であり、近年においても平成16年、平成18年の出水で浸水被害が発生していることから、治水安全度の向上が急務となっています。このため、平成16年度から、浸水被害の防止、流下能力の向上を目的として、築堤工事を進めています。

【平成18年10月出水】



根城地区の浸水状況

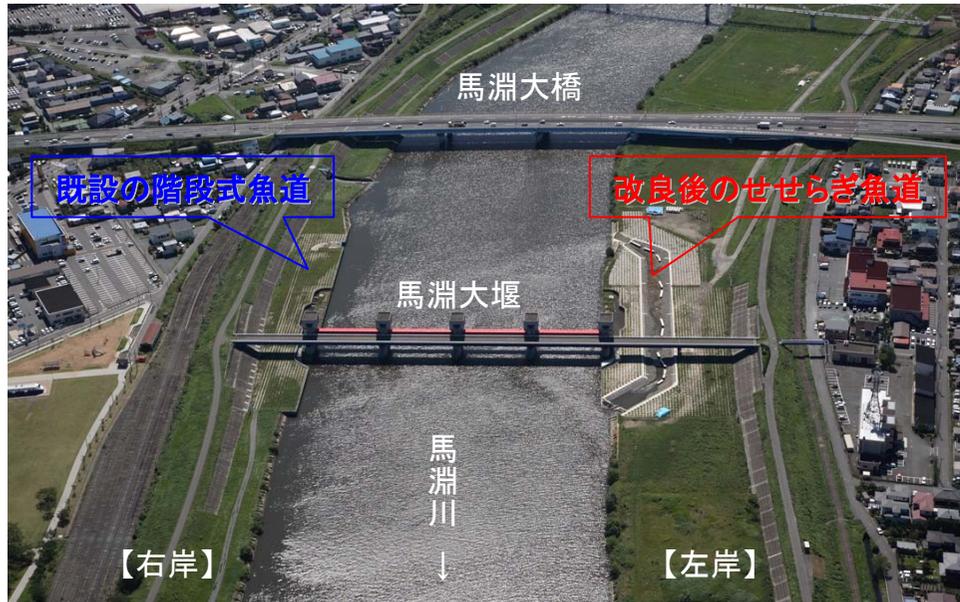
【標準横断面図】



平成22年度事業 河川環境整備事業

『魚がすみやすい川づくり事業』による魚道改良

～ 新設魚道(アユ等)で14種の遡上が可能 ～



既設魚道の機能が十分でないため魚の遡上害(昭和55年3月完成)

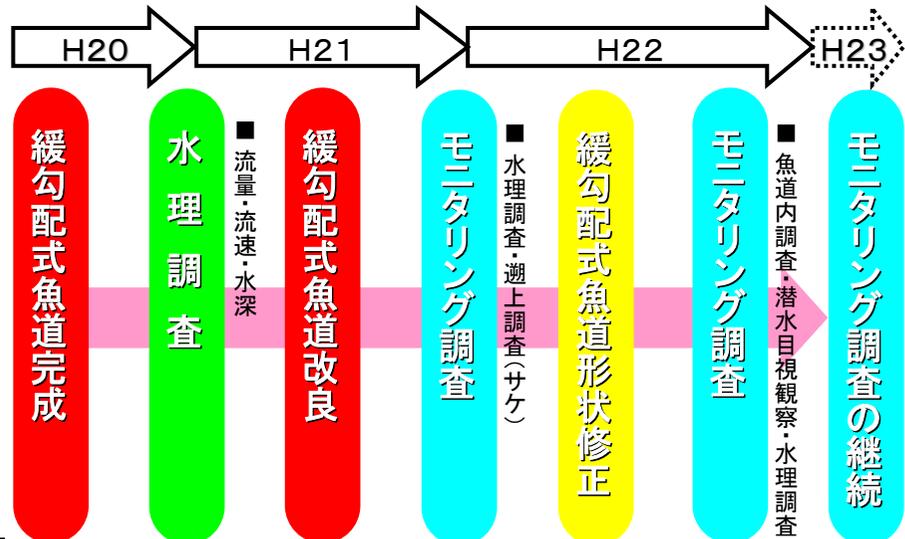
緩勾配式魚道に改築することにより、遡上環境を向上

【これまでの経緯】

日付	内容
H19.7.9	第1回馬淵大堰魚道検討委員会
H19.8.30	第2回馬淵大堰魚道検討委員会
H19.12.6	第3回馬淵大堰魚道検討委員会
H20.2.19	第4回馬淵大堰魚道検討委員会
H20.6.30	第5回馬淵大堰魚道検討委員会
H21.2.27~28	緩勾配式魚道 水理調査(馬淵大堰全閉)
H21.3.11	第6回馬淵大堰魚道検討委員会
H21.7.15~16	緩勾配式魚道 水理調査(馬淵大堰全閉)
H21.11.4	第7回馬淵大堰魚道検討委員会
H21.12.3~4	緩勾配式魚道 モニタリング調査(ポンプ通水)
H22.1.15~17	緩勾配式魚道 モニタリング調査(馬淵大堰全閉)
H22.3.16	第8回馬淵大堰魚道検討委員会
H22.6.27~28	緩勾配式魚道 モニタリング調査(馬淵大堰全閉)
H22.7.29	緩勾配式魚道形状修正、モニタリング調査(馬淵大堰全閉)
H22.8.6	緩勾配式魚道形状修正、モニタリング調査(馬淵大堰全閉)
H22.8.9	緩勾配式魚道形状修正、モニタリング調査(馬淵大堰全閉)
H22.8.20	緩勾配式魚道 水理調査
H22.12.2	第9回馬淵大堰魚道検討委員会(予定)

H19.11.20~H20.10.31
馬淵大堰魚道工事

H21.8.12~H22.3.26
馬淵大堰魚道改良工事



■ 維持修繕工事

- ・堤防除草工 年2回
- ・路面補修工 1式
- ・堤防芝養生工 1式
- ・塵芥処理工 1式

■ 河川巡視業務

- ・河川パトロール週2回

■ 樋門・樋管点検

- ・専門業者による設備点検 年1回
- ・水閘門操作員による点検 月1回



▲ 堤防除草作業の様子



▲ 河川巡視の様子



▲ 樋門・樋管点検の様子

一日市地区での
現地焼却



平成22年度 河川環境の整備と保全【外来種対策の実施】

馬淵川水辺の楽校(国道104号大橋下流右岸)のせせらぎ水路内で大量発生が確認された**外来種の巻き貝「コモチカワツボ」**について、**学識経験者・関係者と連携し、駆除対策**を実施しています。



馬淵川水辺の楽校 (平成18年7月完成)

大量発生した「コモチカワツボ」

コモチカワツボとは、

【分布・形態】

- ・ニュージーランド原産の外来種です。
- ・大きさ4~5mm程度の小さな巻き貝で在来のカワニナの稚貝と似ています。



【生息環境】

- ・湧き水のまわり、水草や糸状の藻類が多い場所に生息しています。

【繁殖生態】

- ・高い繁殖力を持ち、無性生殖を行うため1匹でも増えます。

【生態系への影響】

- ・藻類を食べるため、同様に藻類を食べる魚や水生昆虫への影響が懸念されます。
- ・カワニナによく似ていますが、これを餌として育ったホタルは、**生育が悪く、光も弱くなり、繁殖に支障をきたす**といわれています。



平成22年度 河川環境の整備と保全【外来種対策の実施】

① 第1回「コモチカワツボ」対策検討会の開催

馬淵川水辺の楽校の整備・調査・管理・利用等の関係者13名による**コモチカワツボ対策方針**について検討しました。

氏名	所属	役職
佐々木 幹夫	八戸工業大学 大学院	工学研究科 教授
木村 和年	東北医療福祉事業協同組合	次長
大高 明史	弘前大学	教育学部 教授
関下 斉	八戸野鳥の会	副会長
池田 光則	NPO法人水辺の楽校まべち	理事長
宮崎 伸一郎	東北地方整備局	河川環境課長
久保田 一	青森河川国道事務所	事務所長
荒木 勝彦	青森河川国道事務所	副所長(河川)
福田 修	青森河川国道事務所	調査第一課長
齊藤 義己	青森河川国道事務所	河川管理課長
細田 文一	青森河川国道事務所	八戸出張所長
成田 忠義	八戸市	環境政策課長
酒巻 一修	(株)建設環境研究所	仙台技術部長

【検討会での決定事項】

- ・ガスバーナーで強制的に水路内を乾燥させ、完全駆除を目指す。
- ・コモチカワツボの死滅が確認できた段階で、通水の再開と立ち入り制限を解除する。



検討会の様子

② 「コモチカワツボ」駆除大作戦！

せせらぎ水路とその周辺部において、**ガスバーナー**を用いて**焼却作業**を実施しました。



焼却後



泥上げ後



③ せせらぎ水路への通水再開

モニタリング調査結果により、**コモチカワツボの生息個体**が確認されなかったため、**通水を再開**しました。



通水の再開



ひょうたん池流入口



ひょうたん池→せせらぎ水路

平成22年度 住民参加と地域との連携

馬淵川不法投棄対策合同パトロール

馬淵川河川敷において、電化製品や大型家具などの不法投棄が数多く見受けられる現状から、関係機関と連携して「馬淵川不法投棄対策合同パトロール」を実施しました。

- 日時：平成22年11月15日(月) 9:30～
- 場所：馬淵川河川敷
(馬淵川河口部～根城大橋上流)
- 実施者：青森河川国道事務所 八戸出張所
八戸警察署
八戸市環境部清掃事務所

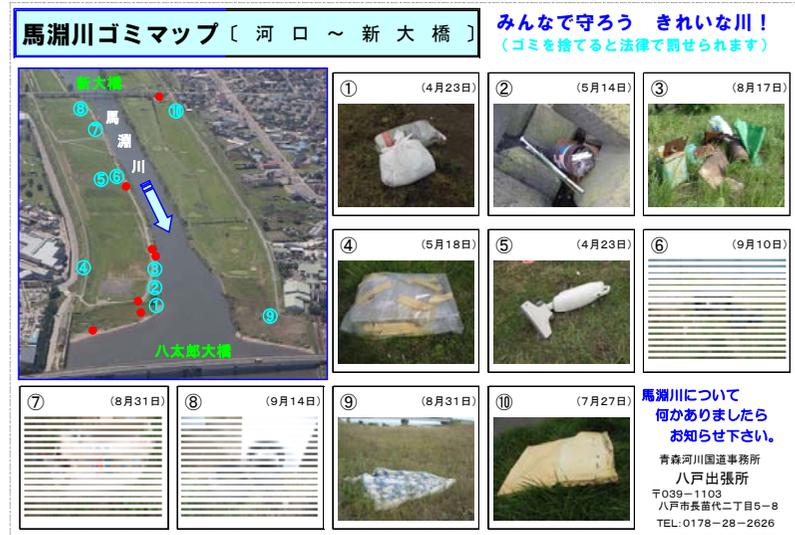
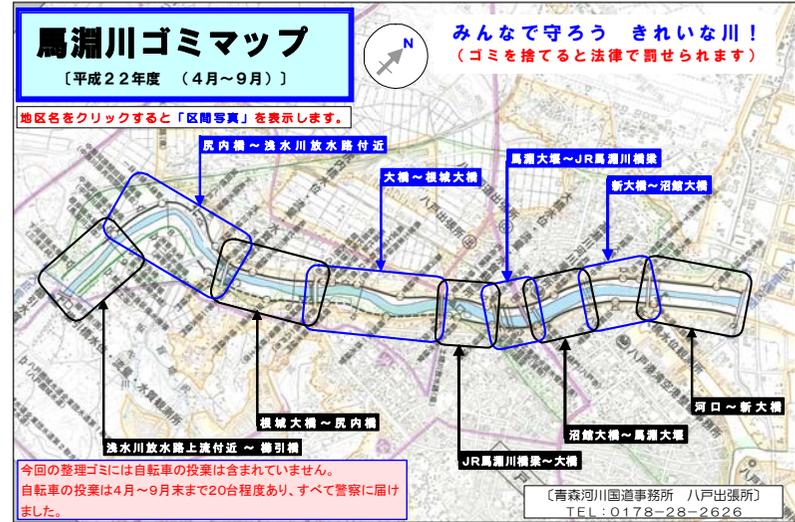


▲ 合同パトロールの様子

合同パトロールと併せて、不法投棄が多発している馬淵川河川敷5箇所、「立て看板」を設置しました。



▼ HPに掲載している「馬淵川ゴミマップ」



日頃より河川パトロールで、ゴミの不法投棄の監視・調査を行っています。

川の通信簿

馬淵川における「川の通信簿」は、平成21年7月11日(土)に直轄河川管理区間内の馬淵川水辺の楽校において、地域住民との共同で実施しました。



▲ 地域住民参加による評価作業の様子

【総合的な成績 ☆☆☆(三つ星)】

今後は、この評価結果を受け

- 「川の通信簿」に加えて、利用者アンケートの実施
- 手作り案内看板の製作・設置
- ボランティアパトロールの募集

などを実施していく予定です。

川の親しみやすさの成績表
川の通信簿

個所名：馬淵川八戸地区水辺の楽校（売市緑地公園）

自然とふれあい、環境を学べる「ピチャピチャランド」

■馬淵川八戸地区水辺の楽校（売市緑地公園）はこんな所

河川名	馬淵川左右岸 3.4~3.8km
所在地	青森県八戸市売市
アクセス	JR本八戸駅より徒歩 20分
面積	約 5.9ha
管理者	水辺の楽校：青森河川国道事務所 売市緑地自然公園：八戸市
特徴	水辺の楽校として、ホタル観察ゾーン、せせらぎゾーン、水辺ふれあいゾーンが整備されています。近隣の売市緑地公園には野球場とローラースケート場も整備されており、多目的に楽しめる空間です。
主な利用	自然観察、水遊び、散策、休憩、スポーツ、生態系保全
利用者数	66人/日(休日)
点検実施日	平成21年7月11日(土)
点検参加人数	35名



■平成21年度現在の成績表

総合的な成績：☆☆☆(三つ星) かなりよい部分があり一定の満足感を味わえる。

No.	点検項目	現在の状況			整備必要%	点検項目の重要度			
		良い	普通	悪い		非常に重要	重要	普通	不要
1	豊かな自然を感じますか	○			30%		○		
2	水はきれいですか		○		70%		○		
3	流れている水の量は十分ですか		○		50%		○		
4	ゴミがなくきれいですか		○		70%		○		
5	危険な場所がなく安全ですか		○		40%		○		
6	景色はいいですか	○			30%		○		
7	歴史・文化を感じますか		○		30%			○	
8	堤防や河川敷には、近づきやすいですか		○		30%		○		
9	水辺へ入りやすいですか		○		30%		○		
10	広場は利用しやすいですか		○		30%		○		
11	休憩施設や木陰は十分ですか			○	90%		○		
12	散歩はしやすいですか	○			20%		○		
13	トイレは使いやすいですか			○	80%		○		
14	案内看板はわかりやすいですか		○		60%		○		
15	駐車場は使いやすいですか		○		50%			○	

○ よい点 □ 悪い点

■特によい点

- ・豊かな自然に触れ合える場所が多い。
- ・カエルや貝など、様々な生物が住んでいる。
- ・自然の景色に溶け込んでおり、特に中島が景観的によい。

■特に悪い点

- ・休憩のための木陰、ベンチ、東屋があると良い。
- ・トイレの数を増やしてほしい。
- ・公園にあるトイレの位置を知らせる案内看板が必要。

■総合コメント

平成18年度に整備された「水辺の楽校」では、自然観察や水遊びができ、周辺では散策、スポーツなど様々な利用がなされています。都市の中にある公園としては緑が多く、景観も評価されています。五つ星にするためには、ベンチや東屋などの休憩場所の整備が望まれます。

平成22年度 住民参加と地域との連携

一日河川パトロール

【平成22年7月27日】

八戸市立下長中学校科学部16名が参加し、馬淵川上流(源流)、中流(二戸市)、下流(水辺の楽校)での水質調査および水生生物調査を実施しました。



▲ 水質調査の様子

出前講座

【平成22年10月8日】

八戸市立下長中学校1年生208名を対象に、総合的な学習の時間を活用し、「水のはなし」、「馬淵川的环境について」の出前講座を実施しました。

併せて、馬淵川水辺の楽校での清掃活動・水生生物調査等も実施しました。



▲ 出前講座の様子

【主な質問】

- ・生物を増やすにはどんな環境にすべきか？
- ・外来種は環境変化に強いのか？
- ・馬淵川にはどれくらいの外来種がいるのか？



▲ 水生生物調査の様子